

●CNCP はあなたが参加し楽しく議論し活動する場です●

シリーズ 分かり易い土木 第3回 橋の種類

路橋、鉄道橋、人道橋などあります。橋の長さは支間(スパン)で示します。支間とは橋を支える支点間の長さですがこれが長くなると桁高が高くなります。支間の短いものは板を渡せば渡れますが、支間が長くなるとタワミが大きくなるので、桁高を高めていきます。橋桁を渡すのが桁橋です。桁をどんどん高くしてその不要部分をくりぬいたと考えると理解しやすいのがトラス橋やアーチ橋です。更に桁高を高したものが斜張橋や吊橋になると考えると理解し易いと思います。

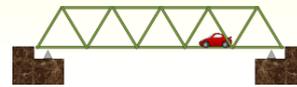
橋梁形式と標準適用支間長は一般社団法人日本橋梁建設協会の表を、イメージ図はbompson「土木のこれから」から転用させて頂きました。

以上

(理事・事務局長 内藤 堅一)



桁橋(プレートガーダー)30~45m



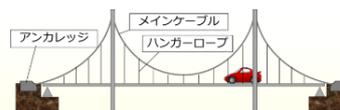
トラス橋 55~85m



アーチ橋 50~120m



斜張橋 130~450m



吊橋 150~2,000m

Vol.75 コンテンツ

巻頭言	”検体採取用綿棒”すら足りなくて大丈夫か	世古 一穂	2
コラム	コロナ過で感じた日本の脆弱さーそしてこれからの土木	山本 卓朗	3
オピニオン	高速道路上で停止させる行為を「危険運転」に法改正	吉川 良一	5
身近な土木遺産シリーズ	第6回 時を紡ぐ美しき隧道	雲林院 ゆみ	6
部門活動紹介	土木インタープリター	田中 努	9
事務局通信			12